

全国的に新型コロナウイルス感染症が増えつつあり、新しい型も見られている様です。園内では新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ（A型・B型）、溶連菌感染症など、色々な感染症が流行しました。

月半ばにはご家庭での保育のご協力もいただき、ありがとうございました。

園内ではアルコール、次亜塩素酸ナトリウムを使用し継続して消毒を行っております。まだまだ空気が乾燥する時期のため、感染症が流行しやすい時期でもあります。お子さまに心配な症状が見られたり、いつもより風邪症状が強い場合には受診していただき、登園の可否や検査等医師の指示に従ってください。受診された場合には、園までご連絡をいただきますようお願いいたします。

### 予防接種は順調に進められていますか

子どもの感染症は予防が第一です

乳幼児期には免疫（病気に対する抵抗力）が未発達なため、さまざまな感染症にかかります。そして感染していくことで免疫をつけながら成長していくのです。でも、子どもがかかりやすい感染症は、かぜのように軽いものだけではありません。中には、確実な治療法がなくて、深刻な合併症や後遺症をおこしたり、命を落としたりする危険がある病気もあります。そうした感染症は、かからないようにまず予防することが大切です。ワクチンこそ、もっとも安全な予防方法です。

感染症を予防するのに、安全で確実性の高い方法が、ワクチンの接種です。ワクチンは、病気を防ぐために必要な免疫を安全につける方法です。ワクチンを接種することで、子どもたちを病気から守ることができます。

せっかくワクチンというすぐれた予防法があるのに、使わないのはとてももったいないことです。大切なわが子を守るためにも、ワクチンのメリットを最大限にいかしましょう。

スケジュールについて添付しますので、かかりつけ医にご相談ください。

子どものかかりやすい、主な感染症  
～VPDとVPDでないもの～



### おしらせ

☆ 新型コロナウイルス感染症やインフルエンザともに、症状が出てすぐの検査の場合は、陰性となることがあるようです。症状が続くようなら、翌日以降の再受診や再検査についてかかりつけ医にご相談ください。

☆ 2/7（水）～2/13（火）まですみれ組・れんげ組・さくら組のお子さまに3回目のダウンメディアチャレンジをしようと思います。その期間に体調が思わしくなかった場合は後日のチャレンジでも結構ですので、無理のない範囲でチャレンジしてみてください。

